

市長の窓

しげ のぶ
滋宣の



ぼう ちゅう かん あん ちゅう めい
“忙中閑あり暗中明あり”

その 22

かた うど
～ 方人 ～

辛い時、苦しい時、悲しい時、そばで支えてくれる仲間がいることは、とても心強いことです。そんな仲間や味方のことを「方人」といいます。

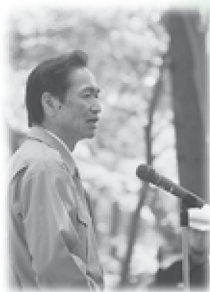
平安の昔、二つのチームに分れて、持ち寄った絵の素晴らしさを競う「絵合」、どちらのあやめの根が長いかを競う「根合」、どちらが素晴らしい歌を詠むか競った「歌合」などの遊びがありました。その時の同じ仲間を「方人」といったのが由来と言われます。

現在では一方をひいきする人のことも「方人」ということもあるようですが、もとは一緒に頑張る仲間をさしていたようです。

東日本大震災は未曾有の被害を出し、今なお行方が分からず、避難所生活を余儀なくされている方が大勢います。

いうまでもなく、我々は日本人の、東北の「方人」です。被災地の皆さんが復興できるその日まで、「方人」として、しっかり支えていきたいものです。

能代市長 齊藤 滋宣



5月26日の能代市総合防災訓練では、災害対策本部長として訓練を実施しました。